

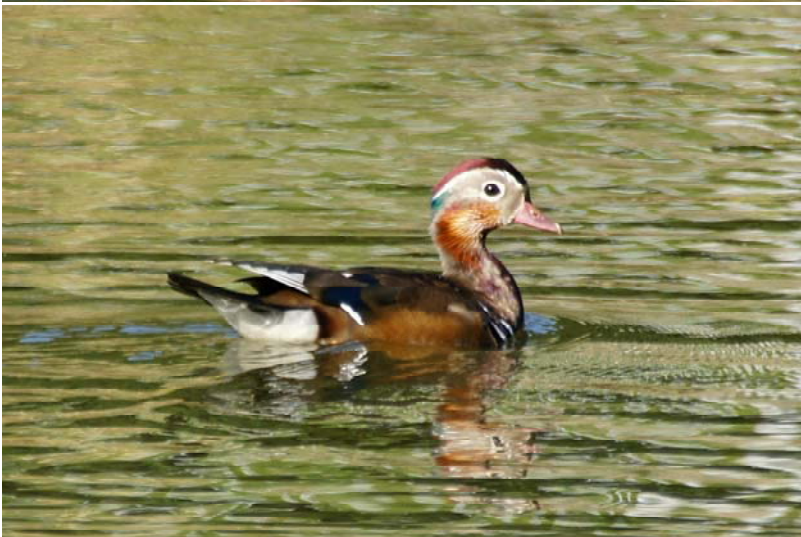
牛久：学校周辺に見る自然

第33号 みずべ公園

2016年10月21日発行

＜ 速報・みずべ公園に、オシドリ飛来 ＞

皆さん、こんにちは。ひたち野うしく小3年生とのみずべ公園シリーズの途中ですが、昨日ひたち野



みずべ公園に飛来したオシドリのおす。「エクリプス」とよばれ、まだ繁殖期の特ちょう的な羽にはなっていない。右側と左側でも少し色合いが異なる。



なぜかほぼ同じポーズをとっていた、繁殖期のおすのオシドリ2羽。

うしく小勤務後に好天に誘われみずべ公園を歩きましたら、みずべ公園では初めてオシドリを見ましたので報告したいと思います。

いつものように池をながめながら冬鳥のカモたちはまだあまり来てないかなと写真を撮っていましたが、カルガモの群れから少しはなれ、カルガモよりは小さいけれどカイツブリより大きい、部分的にあざやかな羽色のカモがいました。これは・・・、オシドリに似ているけれどずいぶん首が細いしそこまで派手じゃないし・・・、何だろう？と思いつつ写真を撮っておきました。帰宅後調べてみて、やはりオシドリであったことを確認しました。カモのなかまのおすは、繁殖期が過ぎるとめすに似た地味な色の羽にかわり、これを「エクリプス」というそうです。オシドリも繁殖期以外は首が細長くなり羽の色もあまり目立たなくなるそうですが、くちばしの色がめすの灰黒色ではなくおすの赤なので区別できるとのこと。昨日見たのは、赤というよりはピンクに近いようなくちばしでした。低山などの水辺に近い樹洞に巣をつくり、冬には市街地の池などに飛来することもあるけれど林に囲まれた池を好むそうです。牛久自然観察の森では何度か見たことがあります。みずべ公園では初めて見ました。おす1羽だけでしたが、よく観察すればもっといたのかもしれない。見つけたら、教えて下さいね。 【理科支援員：宮内】

2013.1.22 牛久自然観察の森